

【編集・発行元】

福井市介護サービス事業者連絡会 会報編集委員会
〒910-8511 福井市大手3-10-1
福井市役所 福祉部 介護保険課内
TEL 0776-20-5715/FAX 0776-20-5766



認知症の人(家族)への関わり方

(写真／オンライン形式による講演会の様子)

令和4年度総会の記念講演会として、日本高齢者アタッチメント協会代表 林 炎子(はやし もえこ)氏を講師にお迎えし、『認知症の人(家族)への関わり方』をテーマとした講演会を昨年7月に開催しました。

認知症の基本的な知識をはじめ、認知症の人にどのような変化が起こっているのかを、本人目線で解説いただきました。それらの様々な変化を理解した上で、本人やご家族とどのように関わっていくか考えるきっかけとなりました。

なお、当日は新型コロナウイルス感染症予防のため、令和3年度に引き続き、オンライン形式での開催となりました。

目次

会長あいさつ ▶ 1ページ

令和4年度の活動報告 ▶ 2ページ



「～オンラインから顔の見える連携へ～」

福井市介護サービス事業者連絡会 会長 米田 尚

会員の皆様におかれましては、日頃より当会の活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和5年度の総会は、久しぶりに集合形式で開催することができ、少しは新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたと安堵したところですが、介護業界を取り巻く環境は、日々感染対策に追われ、事業者間や医療、行政、地域との連携不足、そして感染拡大による人材不足という課題がより一層露呈し、会員の皆様におかれましては、大変ご苦労されたことと思います。また、5類移行後も物価高騰や豪雨などの自然災害というように次々と問題が山積し、経営的にも苦慮されているのではないのでしょうか。

さて、来年には医療・介護・障害のトリプル改定が迫っております。地域包括ケアシステムの構築や共生社会への対応が迫られる一方、高齢化社会の構造が変化するとともに高齢者世帯や独居世帯が増えてきており、事業所での対応も多岐にわたっております。福井市においては次期オアシスプランの策定も進んでおりますが、行政と現場との間で課題に若干の乖離があることも事実です。当会からも数名が委員として参加し、できるだけ現場の意見を反映できるように対応しております。

部会活動も難しい状況下ではありますが、まずは、包括エリアごとの垣根を超えてサービス事業者が横の連携を築いていける基盤を再構築し、オンラインから顔の見える連携へ、そして地域との連携も増やしていきたいと思っております。ICTの推進も大事ですが、人が相手のサービスですので、気軽に相談できる環境も必要だと感じております。

当会としては、会員の皆様の様々な課題に迅速に対応し、有益な情報をタイムリーに提供できるよう運営していきたいと思っておりますので、是非ともご協力をお願いします。

令和4年度の活動報告

令和4年度 総会・記念講演会

※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、総会は書面開催、記念講演会はオンライン形式で開催しました。

《総会》

開催方法：書面開催

対象：約200法人あてに資料を送付

議事内容：事業実績・収支決算報告、事業計画・予算決議、会則の改正（全て承認）

《記念講演会》

開催方法：オンライン開催(Zoom) + アーカイブ配信(YouTube)

日時：令和4年7月2日(土) 14時30分～16時30分

講師：林 炎子 氏（日本高齢者アタッチメント協会 代表）

演題：『認知症の人(家族)への関わり方』

令和4年度 勉強会

※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、オンライン形式で開催しました。

日時：令和5年1月27日(金)～28日(土)

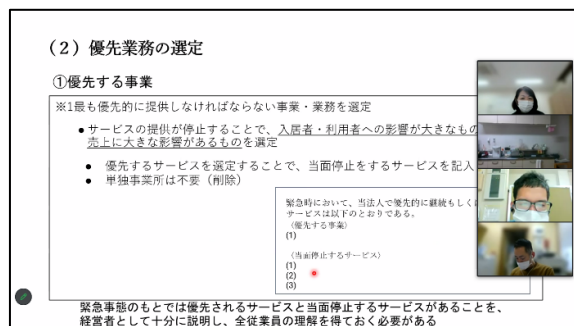
※ 入所系、通所系、訪問系で4回に分けて実施

講師：寺岡 純子 氏

(介護BCP教育研究所 統括責任者)

演題：BCP（業務継続計画）の策定支援

参加者：合計58名



(写真/第2回(通所系)の開催様子)

令和4年度 意見交換会

※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、グループワークは中止し、講演会をオンライン形式で開催しました。

日時：令和5年2月22日(水) 13時30分～17時00分

講師：畑山 浩俊 氏（弁護士法人かなめ 代表弁護士）

演題：『介護サービス事業者が講じるべきカスタマーハラスメント対策の整備方法等の実務について』

参加者：約40名